

清水達三作品の展示について

新たに寄贈いただいた作品を含め、5点を展示し、その制作を偲びます。

和歌山市において長らく日本画家として活躍された清水達三氏が、2021（令和3）年に亡くなられました。この度、ご遺族より作品3点のご寄贈を受け、そのお披露目として特別に清水達三氏の作品を紹介するコーナーを設けます。

清水氏は1936（昭和11）年1月9日、和歌山市に生まれ、1962（昭和37）年、日本画家の中村貞以、長谷川青澄に師事。日本画家として日本美術院展への出品を続け、1985年（昭和60）年より奨励賞を6回受賞。1991（平成3）年には日本美術院展日本美術院賞を受賞し、1993（平成5）年、日本美術院展同人となりました。その後も着実な制作と発表を続け、2001（平成13）年には、日本美術院展内閣総理大臣賞を受賞。2008（平成20）年に日本芸術院賞・恩賜賞を受賞し、日本芸術院会員となりました。

地元においても県美術家協会会長や県展審査員をつとめ、文化の向上に尽力されました。

2017（平成29）年には旭日中綬章を受章されています。

2021（令和3）年12月17日、和歌山市で逝去。85歳でした。死没日をもって従四位に叙されています。

これまでに清水氏からは2001（平成13）年の再興第86回院展において内閣総理大臣賞を受賞した《枯木灘》と翌年の再興第87回院展に出品された《波濤》の2点をご寄贈いただいておりますが、この度ご遺族より《日触》（1991）、《朝的那智》（2014）、《京舞妓》（2020）の3点をご寄贈いただきました。

これまで県展にはご出品をいただいておりますが、今回は特別に一角を設けてご寄贈いただいた作品を紹介し、その制作と地元美術界への寄与を偲ぶよすがといたします。

展覧会概要

新型コロナウイルス感染拡大の状況により予定が変更となる可能性があります。
最新の情報はホームページなどでお知らせいたしますので、ご確認の上ご来館ください。

第76回和歌山県美術展覧会（県展）

会 期 2023年1月11日（水）-1月15日（日）

開館時間 9時30分-17時（入場は16時30分まで）

観 覧 料 無料

お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館

学芸担当：奥村泰彦 広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上 1-4-14

T E L : 073-436-8690

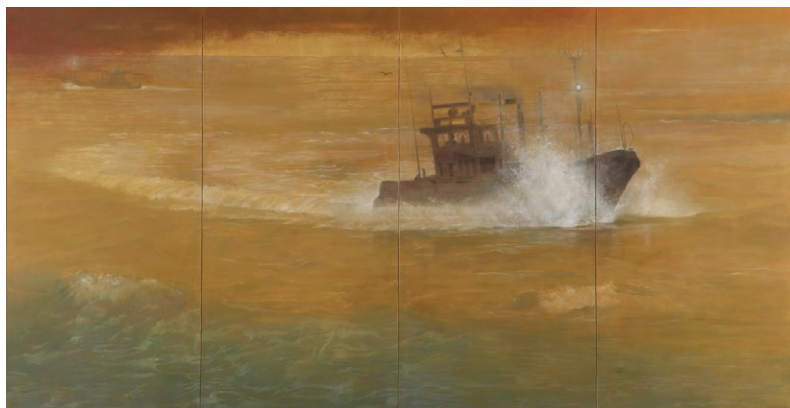
F A X : 073-436-1337

E-MAIL : press@momaw.jp

W E B : <https://www.momaw.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/moma.wakayama/>

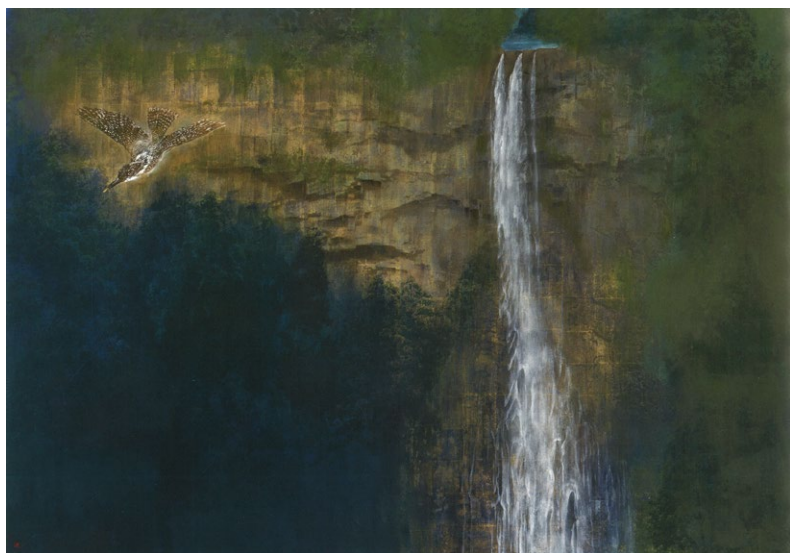
Twitter : https://twitter.com/moma_wakayama



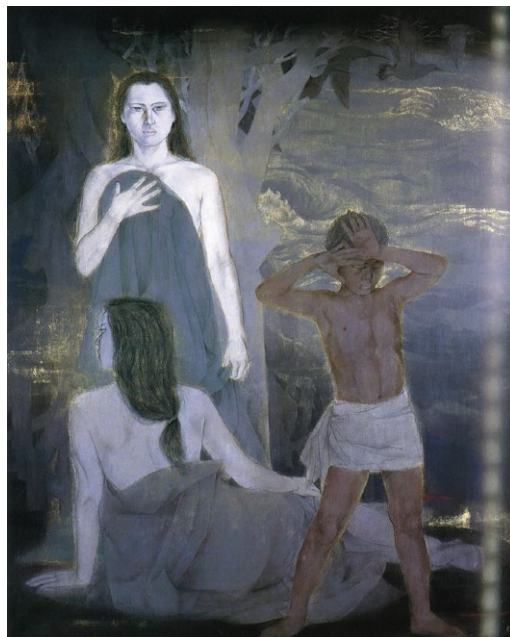
1. 《枯木灘》2001(平成13) 顔料、麻紙 172.5×332.0cm 内閣総理大臣賞



2. 《波濤》2002(平成14) 顔料、麻紙 175.0×333.0cm



3. 《朝の那智》2014(平成26) 顔料、麻紙 204.8×282.0cm



4. 《日蝕》1991(平成3) 顔料、麻紙 225.0×179.5cm
日本美術院賞



5. 《京舞妓》2020(令和2) 顔料、麻紙 169.5×113.8cm

掲載用画像については広報担当にお問合わせください。
*文字のせ、トリミング等をご遠慮ください。